

図7. 3次元インバージョンによる蔵王火山・長町利府断層を含む比抵抗構造（東京工業大学 [課題番号：1601]）。（左）深度5 kmにおける比抵抗分布図。暖色系が低比抵抗を表す。黒点は地震の震源を、赤三角は蔵王火山を、白矢印で指し示した実線は長町利府断層の地表トレースを表す。（右）深度15 kmにおける比抵抗分布。

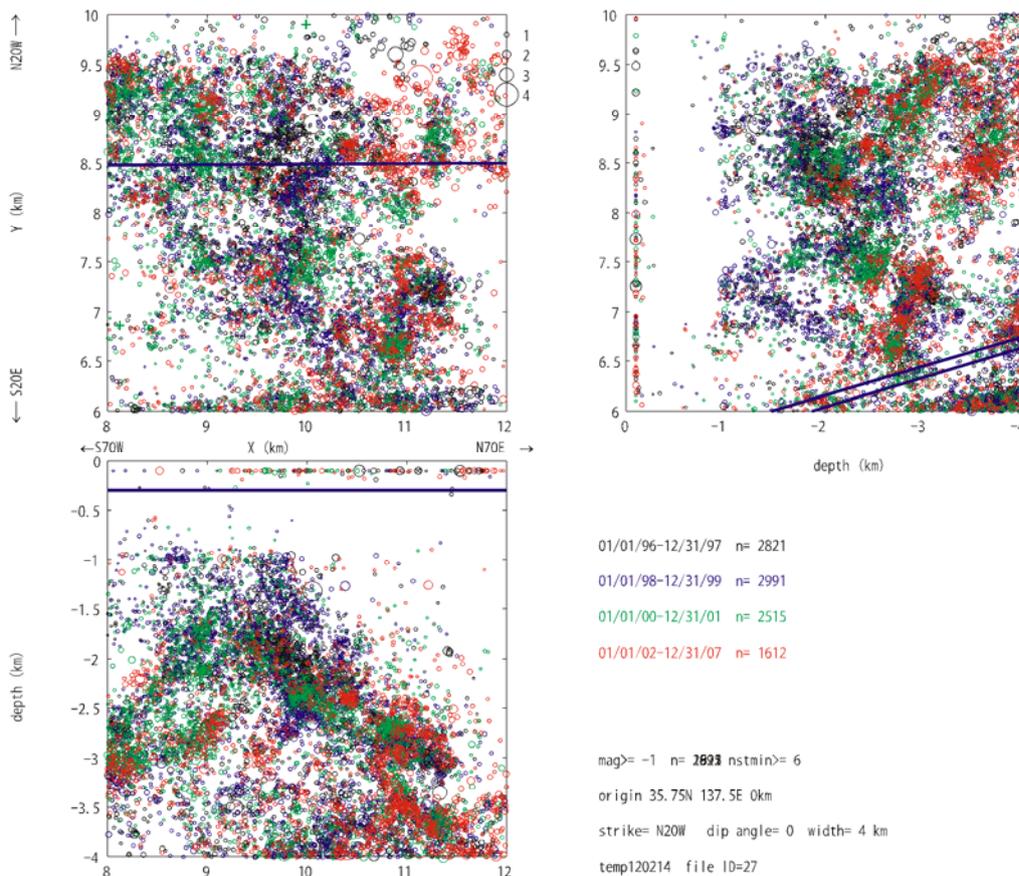


図8. 長野県西部地域における震源分布の時空間変化（京都大学防災研究所 [課題番号：1806]）。1996-1997年、1998-1999年、2000-2001年、2002-2007年に発生した地震の震源分布をそれぞれ、黒、青、緑、赤色の丸印で示す。

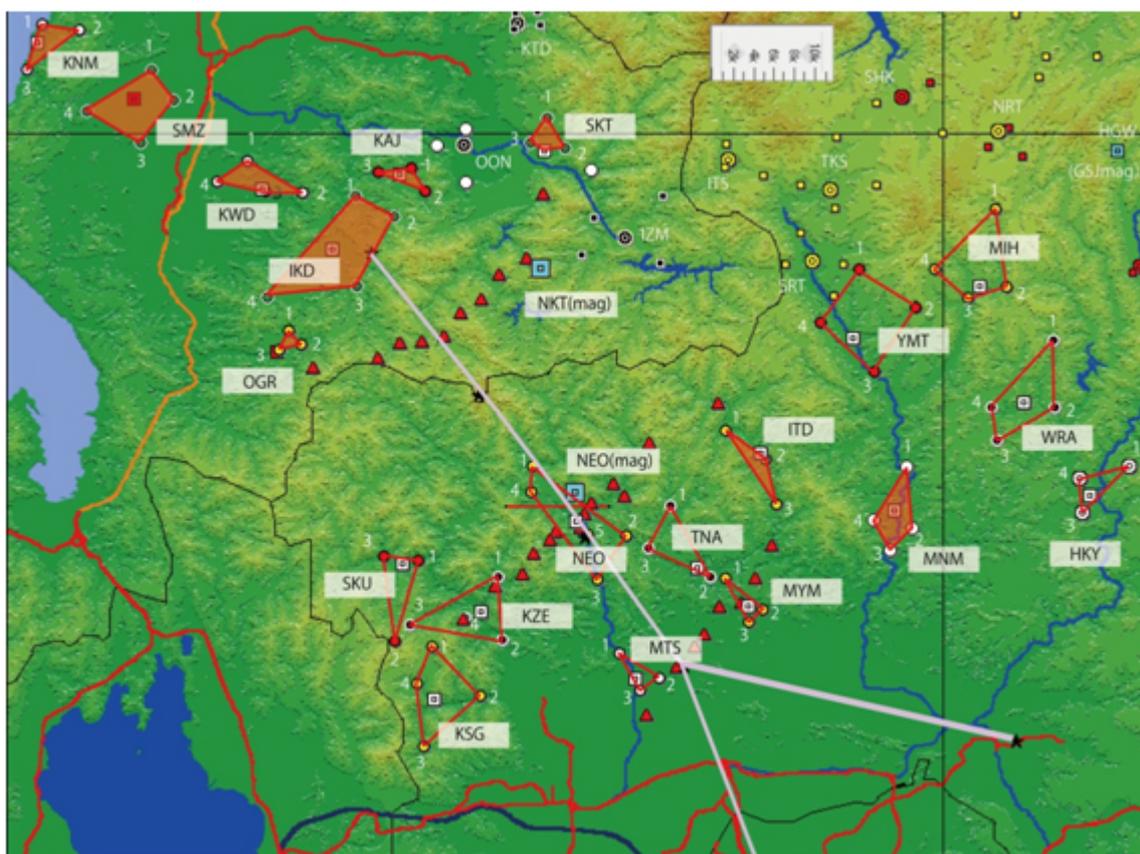


図9. 濃尾地震断層周辺域でのネットワークMT観測点分布図（東京大学地震研究所 [課題番号：1411]）。白四角内に地名の入った、20交換所エリアでの観測を実施しており、異常位相が観測されている領域を薄赤色で示す。防災科学技術研究所による広帯域MT法観測点（3測線）を赤三角で示し、前キャンペーンである跡津川断層周辺域での観測においてデータを取得した地点を白抜き地名で示す。ネットワークMT法応答関数を求めるための磁場参照点を観測域内の2点（中竜（NKT）、根尾（NEO））におき、ローカル磁場ノイズを除去するための遠隔磁場参照点を前観測計画から引きついで、京大防災研上宝地殻変動観測所・蔵柱坑内（KTJ）、輪島市（WJM）においている。灰太線は、濃尾地震推定地震断層を示す。また、直流、交流電化路線をそれぞれ赤、オレンジ線で示している。